

城西大学水田記念図書館報

図書館ホームページ

<http://libopac.josai.ac.jp>

図書館メールアドレス

library1@josai.ac.jp

TwitterID@lib_josai



紙というもの

閲覧係 近藤倫史

身近な物を見回してみてください。あなたの身の回りで最も古いものは何ですか？ それは10年後も使うことができますか？ 100年後は？

例えば映画のDVD。何度再生してもテープのように擦り切れたりしない優れ物です。でもデッキと電気とテレビがなければ見られません。100年経ったら、再生できる機械はもうこの世には無いかもしれません。図書館副館長の従二先生の巻頭言(2011年12月号)でもありましたが、メディアの進歩と陳腐化の速度には驚くべきものがあります。

では本はどうでしょう。どこでも読めます。電源は要りません。必要なのは文字が判別できる程度の光だけです。そしてあなたが大事にすれば、100年後にだって読めます。1500年経ってなお形を留める本もあるのです。

紙の性質にもよりますが、日本の和紙はとりわけすばらしい耐久性をもち、1000年以上の寿命があります。伝統的な製法によって作られた和紙は使用している繊維が長いために強靱で、リグニンと呼ばれる劣化物質の含有量も少ないため、本のみならず世界中の美術品の修復にも使われています。当館所蔵の「こうていないけいそんちゆうしやうはつび黄帝内經素問註證發微」は寛永5年(1628年)のものですが、紙はまだまだ十分な柔軟性を持ち、可読性も極めて良好です。

一方、ここ数十年前に作られた紙は酸性紙と呼ばれるもので、じつはあまり耐久性がありません。インクのにじみを防止するための添加剤によって紙が酸性になっており、時間とともにボロボロになっていくためです。その寿命はおおよそ50年ほどだといわれています。この酸性紙問題は世界中の図書館の悩みの種であり、紙の酸を取り除く処理や特殊な箱に入れて保存性を高めるなどの処置のほか、城西大学でも行っているような画像処理による電子書籍化^(注)など内容だけでも留める試みがなされています。

いかに和紙が強靱といえども、永遠にその姿をとどめておくことはできません。かと言って、しまい込まれては資料としての意味がなくなってしまいます。図書館では保存方法の検討、利用の際のガイドライン作り、前述の電子化などで長く使ってもらえるようにさまざまな努力をしています。

情報を少しでも長く、正確にとどめる。パピルスに始まり、和紙に行きつく『紙』というメディアもそうした願いと努力によって試行錯誤し、作られてきました。1冊の本を手取る時、紙の歴史に思いを馳せて、そして末永く使っていただけのように大切に取り扱い扱ってもらえれば幸いです。

(注:城西大学では漢方古書資料デジタルアーカイブとして図書館ホームページで公開)

父母後援会寄贈雑誌アンケートのお願い

父母後援会寄贈雑誌の書架で12月21日までアンケート用紙を配布していますので、回答をお願いします。他に読みたい雑誌がありましたら購入希望の欄に記入してください。Twitter(@lib_josai)でもアンケートを受け付けています。

カウンターに提出してくれた方にはプレゼントを差し上げています(なくなり次第終了です。ご了承ください)。

アンケートの結果は来年度の雑誌入れ替えの参考とさせていただきます。

皆様のご協力をお願いします。

今月の図書館展示コーナー「図譜と図絵」

少し気が早いですが「日本の正月」と聞いて皆さんはどんなイメージをお持ちでしょうか。図書館所蔵の『諸国図会年中行事大成』をみると、江戸時代の町に門松、しめ縄飾り、はこ板といった”いかにも”な様子が見られます。

図会[ずえ]とは、図や絵を集めた資料のことです。また図譜[ずふ]とはいわば図鑑です。今回の展示では図譜・図会といった資料につき、各ジャンルのものをピックアップしてみました。なかでもシーボルト旧蔵日本図譜コレクションは学術的に貴重な図譜で、精緻さ、色彩の表現力など一見の価値があります。

普段手にとることは少ないかもしれませんが、図書館にはこうした資料もあります。展示を機会にぜひ色々な種類の資料に触れてみてください。



Ask me! ~今月の調べもの~

Q 緒方洪庵の業績などについて調べたい。

A ジャパンナレッジ・プラスN(オンライン百科事典)で緒方洪庵^{おがたこうあん}について調べてみますと、日本大百科全書の検索結果から関連項目として『適々齋塾』、関連サイトとして『江戸東京医学史散歩』と『適塾(大阪大学)』へのリンクがあり、緒方洪庵の業績などの情報が得られます。

「緒方洪庵」で城西大学OPACを検索すると関連書籍は2冊ありますが、ジャパンナレッジで参考文献としてあげられている緒方富雄著『緒方洪庵伝』(1977・岩波書店)については城西大学では所蔵していません。

しかし図書館HPの埼玉県内公共図書館等横断検索システムを使えば近隣の公共図書館の蔵書を検索でき、新しい版のものを埼玉県立図書館が持っていることが判ります。直接図書館に行くだけでなく、大学またはお近くの公共図書館を窓口^{窓口}に本を取り寄せることもできます。

(横断検索システムは図書館HP > 図書館概要 > 相互協力館のページにあります)

POINT

情報源は大学図書館だけではなく、webサイトや地域の図書館も幅広く活用しましょう。城西大学は地域公共図書館やSALA(埼玉県大学・短期大学図書館協議会)加盟館との相互協力も行っています。

自著紹介『演習でクリア フレッシュマン有機化学』 理学部化学科客員教授 小林啓二



高校化学において、有機化学は教科書の後半に章立てされていて、学年も押し詰まったところに学ぶのが普通のようなものである。特に、新しい学習指導要領による「化学」では、この状況がますます顕著になると考えられ、大学で有機化学を学ぶスタートラインはかなり後退するのではないかと危惧される。

このような状況を考慮して、有機化学を大学で初めて学ぶ学生向けに教科書もしくは自習書として、高校と大学との橋渡しとなるようにも配慮して書かれたのがこのフレッシュマン有機化学である。理解を助けるヒントやたとえが挿入され初學者でも無理なく読めるように丁寧に記述されている。最大の特徴は演習問題…と言っても、本文の記述の確認問題あるいは反復練習スタイルのごくやさしい問題である…が随所に挿入され、理解を高めながら読み進められる点にある。高校化学ではほとんど触れられない分子の立体構造についても、学びやすい一冊といってもよいだろう。

小林先生から『演習でクリア フレッシュマン有機化学』をご寄贈いただきました。

開架図書3階の 437//Ko12に配架されています。

学生選書で選ばれた図書をミニ展示コーナーで公開しています

11月6日から17日までの期間、図書館で購入する本を学生自身が選ぶ「学生選書2012」を行いました。

15名の学生が図書館事務室内の特設本棚から75冊の図書を選書してくれました。

こんな本が選書されています。選書者のコメントと共に紹介します。



違いがわかる！同種・同効薬

黒山政一 大谷道輝著 / 南江堂

開架図書(3階) : 499.1//Ku78

服薬指導する際に作用機序の違う薬なら説明しやすいが、同じ薬が2種類処方箋に記載されたとき明確に説明するために必要な本。

(薬学部 薬学科/6年)

農業・食料問題入門

田代洋一著 / 大月書店

開架図書(3階) : 612.1//Ta93

過去の農業政策と現代の日本が抱える農業問題がまとめられている。入門の割には難しい部分もあるが、政治や歴史とも絡めて書かれている。(現代政策学部/3年)

大学就職部にてできること

大島真夫著 / 勁草書房

就職活動支援図書コーナー : 377.9//O77

就職活動の参考になると思った。

(経済学部 経済学科/4年)

光圀伝

冲方丁著 / 角川書店

開架図書(2階) : 913.6//U13

水戸黄門でおなじみの、水戸光圀の知られざる物語です。(理学研究科数学専攻/1年)

ビジュアル治療食300

宗像 伸子ほか編 / 医歯薬出版

開架図書(3階) : 498.583//Mu32

疾病別にエネルギー、たんぱく、脂質コントロール食が紹介されていて献立作成に役立つ1冊です。

(薬学部 医療栄養学科/3年)

死体は見世物か

末永恵子著 / 東洋経済新報社

開架図書(3階) : 490.15//Su18

倫理的に人間が人間を標本にしているのか、と思った。この本を選んだ一番の理由はタイトルにひかれたから。(経営学部/1年)

参加してくれた学生の皆さんありがとうございました。

2013年も開催しますので興味のある方はぜひ参加してみてください。

レポート・論文準備を応援 図書館個人ガイダンス

Aコース 14:00 ~ 14:30

どんなキーワードで資料を探したらいいのかわからない人向け

◇テーマに関するキーワードの見つけ方

テーマの周囲にはどんな関連用語や分野があるのか、ツールや見るべきポイントを紹介します。

Bコース 15:00 ~ 15:30

どんなものを使えば資料を探せるかわからない人向け

◇目的に合わせてデータベースを使いこなす
求める情報に合わせたデータベースの紹介と利用方法の解説をします。

日程 : 経済、現代政策、経営、短大 : 12月10日 ~ 15日

理学、薬学 : 12月16日 ~ 21日

30分と短い時間なので気軽に受講できます。

A・B各回5名まで参加できます。友達と一緒に申し込みも歓迎です。

年末年始休館日のお知らせ

図書館は耐震補強工事のため4階～9階を閉室中です。また、12月23日～1月6日は工事のため臨時休館します。
なお閉室に伴い学習スペースとして丸正食堂を学習の場として開放しています。

食堂の開放時間：平日・午後3時～午後9時まで

土曜・午後3時～午後7時（冬・春休み、日曜日は除きます）

積層書庫も工事のため利用ができません。

12月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	4	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

1月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

図書館開館時間

□=9:00～21:00

■=9:00～19:00

■=9:00～17:00

■=休館日です

図書館総合展ポスターセッションに参加しました

11月20～22日にパシフィコ横浜で行われた図書館総合展で「とびだそう！ 大学図書館はもっともっとできる～地域と共にある大学図書館をめざして～」というテーマでポスターセッションに参加しました。

図書館は平成19年度に近隣の公共図書館との相互協力提携を開始して現在6館と提携し、相互貸借、図書館祭りへの参加、公開講座の共催、図書館員の合同研修会を開催するなど幅広い協力関係を結んでいます。

ポスターセッションではそうした取り組みと利用者インタビューを添えて活動報告をしました。図書館の活動を大判のポスターとしてまとめた展示は多くの人々の注目を集めていました。

実物を清光会館入口で展示していますので、ぜひご覧ください。



図書館彙報

ミニ展示コーナーで就活に役立つ資料特集を行っています。

- 11月2日 高麗祭にて図書館雑誌リサイクル市を開催しました。
- 11月3日 坂戸市立図書館で地域相互協力図書館合同主催公開講座を開催し、従二副館長が講演しました。
- 11月6日 埼玉県大学図書館・短期大学図書館協議会幹事会に出席しました。
- 11月10日 坂戸市立城山中学校の廃品回収に協力しました。
- 11月14日 埼玉県大学図書館・短期大学図書館協議会第24回研修会に出席しました。
- 11月16日 日本薬学図書館協議会機関誌「薬学図書館」編集委員会に出席しました。
- 11月20～22日 第14回図書館総合展でポスターセッションに参加しました。
- 11月22日 埼玉県立川口青陵高校の生徒44名と教員1名が図書館を見学しました。
- 11月27日 日経テレコン21活用セミナーを開催しました。
- 11月28日 日本薬学図書館協議会関東地区協議会に出席しました。
- 11月28日 日々輝学園高等学校の生徒15名と教員2名が図書館を見学しました。
- 12月2日 図書館と県民のつどい埼玉2012に出展します。